



CHAPTER 1

Cisco Unity Connection での Cisco Personal Communications Assistant へのアクセス設定

Cisco Personal Communications Assistant (PCA) は、インストール時に Cisco Unity Connection サーバにインストールされます。これは Cisco Unity Web ツールにアクセスできる Web サイトで、ユーザはこのツールを使用して、Connection でメッセージおよび個人設定を管理できます。Cisco PCA では、次のような Web ツールを利用できます。

- Cisco Unity Connection Messaging Assistant
- Cisco Unity Connection Personal Call Transfer Rules

各ツールの詳細については、該当する『*User Guide for Cisco Unity Connection*』および各ツールのヘルプを参照してください。

次の項を参照してください。

- 「Cisco Unity Connection での Cisco PCA へのアクセス用 Web ブラウザ設定」 (P.1-1)
- 「Cisco Unity Connection での Cisco PCA の GUI 言語の変更」 (P.1-3)
- 「低帯域幅環境のための Cisco Unity Connection Messaging Inbox のカスタマイズ」 (P.1-3)
- 「Cisco Unity Connection で SSL 接続による自己署名証明書を使用する場合のセキュリティアラート管理」 (P.1-4)

Cisco Unity Connection での Cisco PCA へのアクセス用 Web ブラウザ設定

Cisco PCA および Cisco Unity Connection Web ツールを使用するには、各ユーザ ワークステーション上のブラウザを設定する必要があります。コンピュータにインストールされているブラウザに応じて、適切な項を参照してください。

- 「Apple Safari」 (P.1-2)
- 「Microsoft Internet Explorer」 (P.1-2)
- 「Mozilla Firefox」 (P.1-2)

(各ブラウザでサポートされているバージョンのリストについては、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucclientmtx.html から入手可能な『*Compatibility Matrix: Cisco Unity Connection and the Software on User Workstations*』を参照してください)。

Apple Safari

Cisco PCA にアクセスするには、次の作業を実行して Safari を設定します。

1. 正しいブラウザの設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。
『*System Requirements for Cisco Unity Connection*』(Release 9.x) の「Software Requirements—User Workstations」の項を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html から入手可能です。
2. 次に示すように Safari を設定します。
 - a. Java を有効にします。
 - b. Java スクリプトを有効にします。
 - c. 移動したサイトからのみクッキーを受け入れます。

Microsoft Internet Explorer

Cisco PCA にアクセスするには、次の作業を実行して Internet Explorer を設定します。

1. 正しいブラウザの設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。
『*System Requirements for Cisco Unity Connection*』(Release 9.x) の「Software Requirements—User Workstations」の項を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html から入手可能です。
2. 次に示すように Internet Explorer を設定します。
 - a. アクティブ スクリプトを有効にします。
 - b. ActiveX コントロールをダウンロードして実行します。
 - c. Java スクリプトを有効にします。
 - d. すべてのクッキーを受け入れます。
 - e. 一時的なインターネット ファイルの新しいバージョンを自動的にチェックします。
 - f. [中 - 高 (Medium-High)] のプライバシーを有効にします。

Mozilla Firefox

Cisco PCA にアクセスするには、次の作業を実行して Firefox を設定します。

1. 正しいブラウザの設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。
『*System Requirements for Cisco Unity Connection*』(Release 9.x) の「Software Requirements—User Workstations」の項を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html から入手可能です。
2. ユーザが Firefox を Apple MAC OS X または Microsoft Windows ワークステーションで実行している場合は、作業 3. に進みます。

ユーザが Firefox を Linux Red Hat ワークステーションで実行している場合は、Alsa-project.org の Web サイトにあるサウンドカード サポート マトリクスを参照して、ユーザが正しいサウンドカードを使用しているかどうかを確認します。(Java Runtime Environment (JRE) プラグイン ソフト

ウェアは、Advanced Linux Sound Architecture (ALSA) ドライバを使用して、システム サウンド デバイスにアクセスし、再生および録音機能を制御します。サウンド カードによっては、再生および録音機能が制限される場合があります。

3. 次に示すように Firefox を設定します。
 - a. Java を有効にします。
 - b. JavaScript を有効にして、[詳細設定 (Advanced)] で [イメージの変更 (Change Images)] を有効にします。
 - c. サイトでのクッキーの設定を許可します。(セキュリティ上の理由から、送信元 Web サイトのクッキーだけを保存することを推奨します)。

Cisco Unity Connection での Cisco PCA の GUI 言語の変更

Cisco PCA で使用される GUI 言語を変更するには、次の作業を実行します。

1. 該当する言語をダウンロードし、インストールします。詳細については、次の該当するマニュアルを参照してください。
 - 新規 Connection サーバについては、『*Installation Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Installing Additional Languages on the Cisco Unity Connection 9.x Server](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/installation/guide/9xcucigx.html)」の章を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/installation/guide/9xcucigx.html から入手可能です。
 - 既存 Connection サーバについては、『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Adding or Removing Cisco Unity Connection 9.x Languages](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/upgrade/guide/9xcucrugx.html)」の章を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/upgrade/guide/9xcucrugx.html から入手可能です。
2. インターネット ブラウザで言語を選択します。ブラウザで選択する言語は、Cisco PCA が提供する言語のいずれかで、Connection サーバにインストールする必要があります。サポートされている言語のリストについては、次の該当する『*System Requirements*』マニュアルの「[Available Languages for Cisco Unity Connection Components](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html)」の項を参照してください。
 - 『*System Requirements for Cisco Unity Connection*』 (Release 9.x)。次の URL にあります。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html
 - 『*System Requirements for Cisco Unity Connection*』 (in Cisco Unified CMBE Release 9.x)。次の URL にあります。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucmbesysreqs.html

低帯域幅環境のための Cisco Unity Connection Messaging Inbox のカスタマイズ

低帯域幅環境 (たとえば、低速モデムまたは支社での使用) でコンピュータのスピーカを使用して録音を再生する場合、最適なパフォーマンスと音質を得るには、メッセージをダウンロードしてから再生する必要があります。

再生中に Connection サーバからストリーミングするのではなく、メッセージをダウンロードするように Cisco Unity Connection Messaging Inbox (Connection 9.0 の場合) をカスタマイズするには、次の作業を実行して、ユーザ ワークステーションごとに [パフォーマンス (Performance)] の設定を変更します (該当する場合)。

メッセージを再生前にダウンロードさせる Cisco Unity Connection 9.0 Messaging Inbox のカスタマイズ方法

-
- ステップ 1** Cisco PCA のホームページで、**Messaging Inbox** リンクをクリックします。
- ステップ 2** Messaging Inbox で、Media Master を含むページに移動します。(たとえば、新しいメッセージのアイコンを選択して新しいメッセージ ウィンドウを開きます)。
- ステップ 3** Media Master の [オプション (Options)] メニューで、[再生と録音 (Playback & Recording)] を選択します。
- ステップ 4** [再生と録音の設定 (Playback and Recording Settings)] ダイアログボックスの [パフォーマンス (Performance)] で、[再生前にメッセージ全体をダウンロードする (Download Complete Message Before Playing)] を選択します。
- ステップ 5** [OK] を選択します。
-

Cisco Unity Connection で SSL 接続による自己署名証明書を使用する場合のセキュリティアラート管理

SSL 接続を Cisco PCA に提供するため、インストール中に生成される自己署名証明書を使用すると、ユーザの Web ブラウザにサイトの信頼性を確認できないことを警告するメッセージが表示され、その証明書の内容を信頼できません。同様に、自己署名 SSL 証明書を使用して Connection への IMAP 電子メールクライアント アクセスを保護すると、Connection での使用がサポートされた一部の電子メールクライアントで、SSL セキュリティメッセージが表示されます。

このアラートに関係なく、ユーザは Connection にアクセスできますが、ユーザが Cisco PCA を閲覧したり、IMAP 電子メールクライアントからメッセージにアクセスするときのセキュリティアラートを管理または削除するには、次のいずれかの方法を検討してください。

- SSL 証明書を各ユーザのワークステーション上の信頼できるルートストアに追加します。そうすることで、ユーザにセキュリティアラートが表示されなくなります。次の「[SSL 証明書を各ユーザのワークステーション上の信頼できるルートストアに追加する方法](#)」の手順を実行します。
- ブラウザまたは電子メールクライアントにアラートが表示されて対処方法が問われたときに、[常に受け入れる (Accept Permanently)] (または同等の) オプションを選択するよう、ユーザを指導します。ブラウザや電子メールクライアントで証明書を許可するよう指定すると、このアラートは再表示されなくなります。

ユーザにセキュリティアラートを再表示しないようにするには、次の手順に従ってください。

SSL 証明書を各ユーザのワークステーション上の信頼できるルートストアに追加する方法

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection サーバ上の OS 管理アプリケーションから、証明書をダウンロードするリンクをクリックして、証明書をファイルとして保存します。

ステップ 2 証明書を各ユーザ ワークステーションにコピーして、次にブラウザまたは IMAP クライアントでツールを使用してこれを必要に応じてインポートします。
